

CATALOG

Solutions



GRAPHISOFT
Archicad[®]



GRAPHISOFT
BIMcloud[®]



GRAPHISOFT
BIMx[®]



GRAPHISOFT
Learn[™]



GRAPHISOFT
Forward[™]



GRAPHISOFT
Community[™]

素晴らしい建築を創造

Archicad を使って、仕事をよりスマートに！

直感的なBIMソフトウェアであるArchicadは、強力なツールと使いやすいインターフェイスで、あらゆる規模のプロジェクトを効率的にサポートします。

柔軟性の高いデザインツールはシームレスなチームでの共同作業や図面作成の自動化、写真品質のレンダリングエンジンなどを提供し、設計者を強力に支援します。



社長からのメッセージ

BIMのパイオニアである当社は、お陰様で今年創業40周年を迎えました。そして、今まで以上に、革新を加速化させていきます。Archicadを中心とした各製品に磨きをかけ続けるのと同時に、独自のトレーニングプログラム、一新され、より充実したサポート、そしてコミュニティプラットフォームをラインアップに加え、お客様のBIMワークフローを支援します。BIMソフトウェアメーカーから、BIMソリューションプロバイダーへ、グラフィソフトはお客様のために進化し続けます。

グラフィソフトジャパン株式会社

代表取締役社長 トロム ペーテル

デザイン



建築家の思考で開発されたArchicadを使うことで、創造力を引き出すことができます。様々な建築専用ツール、直感的な操作性、エンジニアリングツールやアルゴリズムデザインツールとの連携により、素晴らしい建築の創造を強力にサポートします。



Charles Perkins Centre, Sydney
fjmt - fjmtstudio.com, Australia
Photo © Demas Rusli



チームワーク



BIMcloudを使うことで場所や時間、会社という制限を超えて、チームとコラボレーションをすることができるようになります。それぞれのチームメンバーが同じBIMプロジェクトに同時に参加することができ、変更点は随時モデルに最新情報として反映され作業の高速化や効率化をもたらします。

建築/建設が抱える問題を解決する Graphisoft が提唱するBIMのワークフロー



MERDEKA 118 | FENDER KATSALIDIS | fkaustralia.com

コミュニケーション



BIMxを使うことでBIMプロジェクトの3Dモデル、各種図面や属性情報にいつでもどこからでも容易にアクセスできるようになります。社内でのデザイン検討、クライアントへのプレゼンテーション、遠隔からのプロジェクトへのフィードバック、そして施工現場での情報確認など幅広いシーンでプロジェクトに貢献します。



ナレッジサポート



BIMをより活用していただくために様々なサービスやトレーニングプログラムを提供します。

初めてArchicadに触れる方からBIMマネージャーレベルの方まで、豊富なプログラムは常にアップデートされ設計業務BIMプロジェクトの効率化をサポートします。



建築・建設が抱える様々な問題を解決する、Graphisoft が提唱

1

企画設計

2

基本設計

3

構造・設備

4

確認申請

建物の設計

木造・鉄骨造・鉄骨・コンクリート造・新築・改修など、様々な設計を行うことが可能です。Archicadは設計の初期段階から柔軟にモデルを作成することができ、それらはプレゼンテーションに活用し、詳細化していくことで基本設計、実施設計へとモデルをそのまま活用可能なため、設計者の生産性や創造性を高めることができます。



Szervita Square Building | DVM Group, dvmgroup.com, Hungary

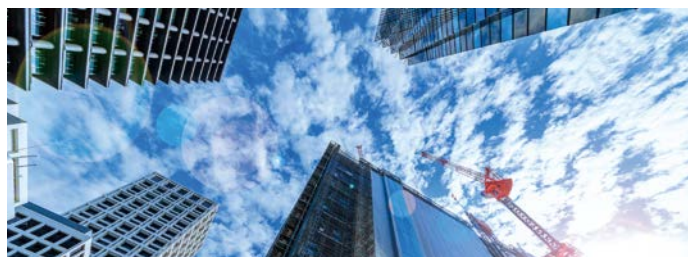


建物の施工

施工計画や施工図、統合モデルなど、様々な人が関わるプロジェクトでは、情報を可視化し共通理解を得ることが必要不可欠となります。Archicadを使用することでそれらを簡単に実現することができます。昨今VRやARなどの技術を組み合わせたデジタルモックアップによる確認も可能で、様々な可能性を秘めています。

建物の維持管理

ファシリティマネジメントやライフサイクルマネジメントなど、建築業界では設計の企画段階から建設後の運営、解体までを同時に検討する必要が出てきています。Archicadで作成されたデータは設計のあらゆる段階で必要な情報を提供することが可能です。これにより建築全体の最適化が可能となり、建物の維持管理でも大きな効果をもたらします。



Archicadをおすすめする理由



意匠設計事務所

設計者の思考で開発されているため、直感的に使用でき創造力を引き出すことができます。標準で建具などのライブラリも準備されているので、すぐに設計をはじめられます。



総合設計事務所

設備・構造設計者が使用するMEP Modelerや構造解析モデル作成などの様々な機能を搭載しています。これにより他分野とのコラボレーションをよりスムーズに行えます。



建設会社

情報を視覚化することにより、誰もが理解できるモデルを簡単に作成することが可能です。施工分野での生産性と品質を向上します。

するBIMソフトウェア

5

実施設計

6

施工計画

7

施工図

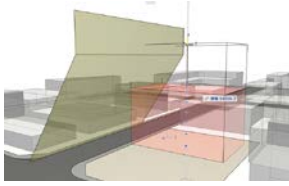
8

運用管理

Archicadの主な機能

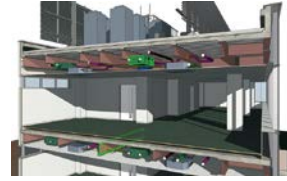
企画設計

敷地に対する建物のボリュームチェックからはじまり、各階の部屋ごとの大まかな広さの検討や、立面や断面高さ方向の計画や規制をグラフィカルにわかりやすく、建築可能な空間を検討し決定していくことができます。



構造・設備

意匠、構造、設備を重ね合わせて可視化します。これにより工事を着手してから大きな問題に直面するというような事態を可能な限り防ぐことができます。丁寧に設計を進めることで、クライアントの利益を守ることができます。



基本設計

壁や柱、梁などの設計に必要な専用のツールを用意しています。これにより簡単に設計プランや仕上げなどをくり返し検討することが可能となります。設計された情報から整合性のある立面図、断面図、面積や建具表などを自動で生成することが可能です。



施工計画

現場で、2D図面と頭の中でイメージした施工計画で打ち合わせするより、近隣を含めた敷地モデルと計画建物モデルを使って、足場の配置や躯体などの施工ステップを可視化・シミュレーションすることで、現場の安全性や作業効率の生産性を高めることができます。



実施設計

基本設計で作成したモデルを詳細化することで、実施設計モデルへと成長させます。自動処理された図面はすでに詳細な情報を含んでいて、寸法や必要な情報はモデルから図面の色や文字などを自動的に表現することが可能です。これにより確認申請図、実施設計図を仕上げることができます。

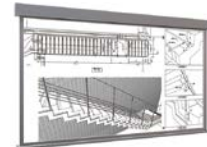
基本設計の
単層モデル



基本設計の
複層モデル

施工図

水平・垂直に切り出した図面だけではなく、斜め横から立体で見た図に寸法やテキストの書き込みをしたり、新しい3D施工図などを作成できます。現場事務所などでスクリーンに3D施工図を映し、2Dの施工図では説明しづらい部分を可視化し関係者間で共有することが可能です。





プロジェクト全体のプラットフォームとして

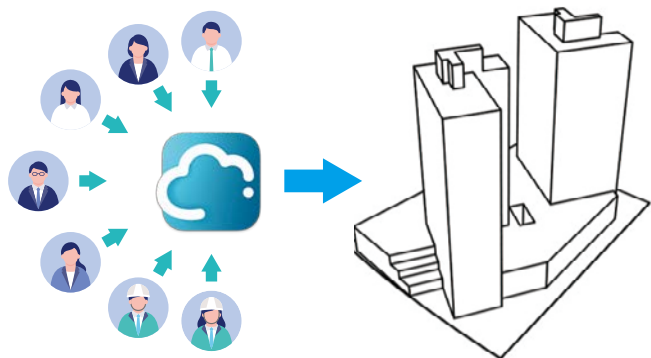
BIMcloudは場所、時間、会社という壁を越え、同じBIMプロジェクトに同時に参加できます。すべての情報はBIMモデルに統合され、作業の高速化、効率化をもたらします。

同一モデルでの作業

同一BIMモデルにチームメンバー全員が参加することで作業効率は向上し、プロジェクトの整合性は維持されます。

お互いが作業しているエリアがわかりやすく、色分けされて表示されます。自分が行った変更は、メッセージ機能を使いメンバーにリアルタイムに共有でき、問題点を議論しながらチームでプロジェクトを進めるのに便利な機能が用意されています。

Archicad、BIMcloud、BIMxのすべてでメッセージのやり取りは可能で、利用する端末やソフトを問わずプロジェクトに参加できます。



様々な立場でプロジェクトに参加

設計責任者・設計担当者・モデル作成担当者・プロジェクト管理者・BIMマネージャーなど、チームメンバーはあらゆる会社の様々なプロジェクトデータを安全に運用できるように、柔軟かつ詳細な権限の設定が可能です。

BIMcloudをおすすめする理由



意匠設計事務所

共同作業とアイデアの共有で、効率性と創造性を上げて、メンバーが一丸となってデザインに集中して素晴らしい建築を生み出せます。



総合設計事務所

同一モデルでの統合デザインにより、意匠・構造・設備の連携を強化して、さらなる付加価値を提供できます。



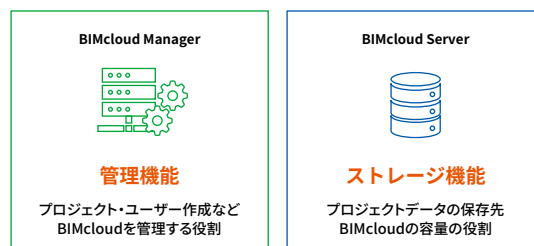
建設会社

OPEN BIMデータハブとしてのBIMcloudは、協力会社との調整を円滑化し、施工BIMの実現により生産性の向上を支えます。



データの管理と安全性

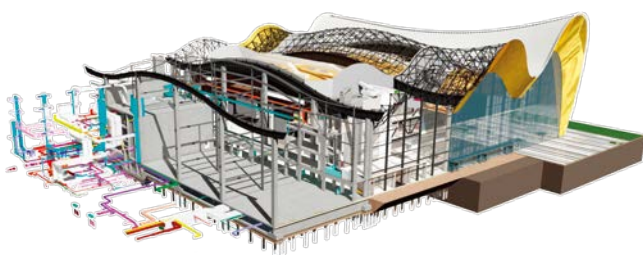
プロジェクトごとのデータフォルダの管理やチームメンバーの構成、アクセス権の変更など、あらゆる管理作業はWebブラウザから行えます。データ通信はセキュアに行われ、バックアップオプションにより、データの安全性が保たれます。



BIMcloudの主な機能

統合デザイン

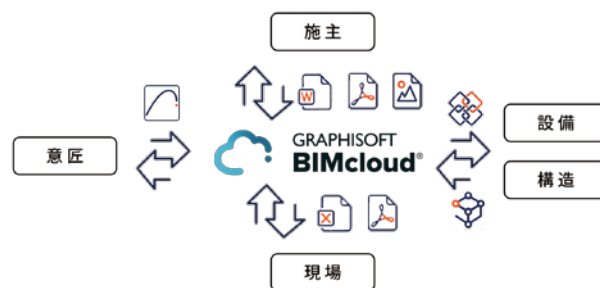
設計の初期段階から各分野の担当者が同じBIMモデルを活用することで、整合性が保たれ、効率化が図れます。分野間の共同作業では変更箇所を可視化し、権限の設定などによりスムーズなワークフローを実現します。



Irina Viner-USmanova Rhythmic Gymnastics Center in the Luzhniki Complex, Moscow, Russia
CPU PRIDE, www.prideproject.pro

OPEN BIM データハブ

あらゆるファイル形式に対応したOPEN BIMのデータハブとして、プロジェクトに関わるファイル、チームメンバー、ワークフローを1か所に集約することで、プロジェクトを効率的かつ円滑に管理します。





BIM プロジェクト情報をいつでも手元に

BIMxを使うことでBIMモデルの情報を、いつでもどこからでも容易にアクセスできるようになります。社内でのデザイン検討やクライアントへのプレゼンテーション、遠隔地からもプロジェクトへのフィードバックが可能。施工現場での情報確認など幅広いシーンでプロジェクトに貢献します。

プロジェクトを理解する

独自のHyper-modelコンセプトで3Dモデルと2D図面の間を行き来して、図面とモデルを重ね合わせて見ることで関係性が理解でき、プロジェクト全体を容易に把握することができます。専門家ではない方にも簡単に設計意図を伝えられます。



プレゼンテーション

3Dモデルと2D図面を取り入れながらタブレットやスマートフォンで直感的かつ、まるでゲームのような視聴体験を提供します。優れた表現力のある3Dモデルビューや図面を組み合わせて、アニメーション化されたプレゼンテーションに編集することができます。

どこからでもプロジェクトに貢献

モバイル端末からBIMcloud上のチームワークプロジェクトに参加することができます。プロジェクトの変更をクラウド経由で受信し、チームメンバーとメッセージを交換したりモデルや図面にスケッチや写真を貼付したりと様々な形でプロジェクトに参加できます。



BIMxをおすすめする理由



設計事務所

クライアントや各関係者に説得力のあるプレゼンテーションを行い、遠隔でプロジェクトに貢献することでより素晴らしい建築を創造できます。



建設会社

設計図書に加えて、施工図一式をモバイル端末で容易に持ち運び、納まりの確認や調整に3Dモデルを活用して生産性と品質を向上します。



クライアントの方

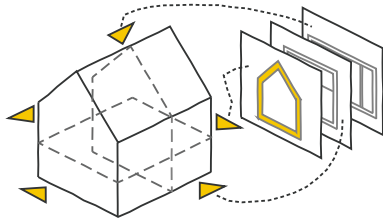
専門家でない方でもデザインを深く理解して、希望通りの建築を実現するために最適な意思決定をすることができます。



BIMxの主な機能

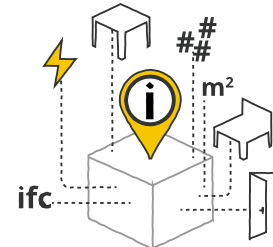
2D-3Dをナビゲーション

BIMxのHyper-modelは、モデルと図面の関係性およびモデル内での空間の位置情報に基づいて、3Dモデルと2D図面を双方向にリンクさせる独自の技術で、モデル内のナビゲーションを直感的かつ魅力的な体験にします。



BIM情報へのアクセス

モデルに含まれるすべての情報に容易にアクセスすることができます。各モデル要素の数量や仕様に関する情報に加えて、モデル内から直接、関連する建材メーカーなどのWebサイトを開いて閲覧することが可能です。



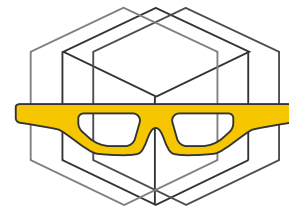
クラウドでの共有

Archicadから発行されたBIMxファイルはGRAPHISOFT BIMx Model Transferサイト、BIMcloud、または各種クラウドストレージを経由して共有することができます。モデルに変更があった場合は、通知を受け取り、素早く更新することが可能です。



VR連携

BIMxはGoogle Cardboard VRに対応しています。iOS、AndroidのスマートフォンでVRを体験いただけます。BIMxモデル内をVRで自由に歩き回り、ブックマーク機能を使えば指定の場所へ瞬時に移動することもできます。



大規模なモデルのハンドリング

モバイル端末のメモリーに依存することなく、モデルの表示する部分だけをメモリーに読み込むストリーミング技術により、どのような大規模で複雑なプロジェクトでも、容易にハンドリングすることができます。



The Hungarian State Opera House model in BIMx | Model: ©CEH

APIによる機能拡張

BIMx APIを利用することで、様々なカスタムワークフローをサポートすることができます。維持管理データベースとの連携、施工現場での進捗管理をはじめ、ニーズに合わせてBIMxの機能を拡張いただけます。



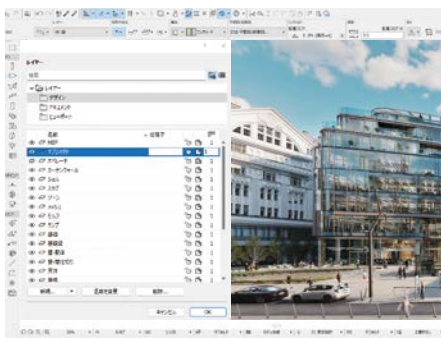
新機能



Design

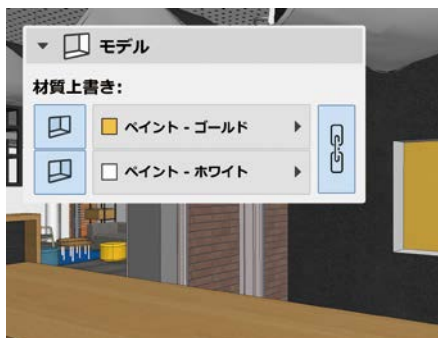
新しい属性管理

レイヤーや材質等の属性情報をフォルダ階層で管理することができ、設計者や管理者は属性をより簡単かつ直感的に管理することができます。



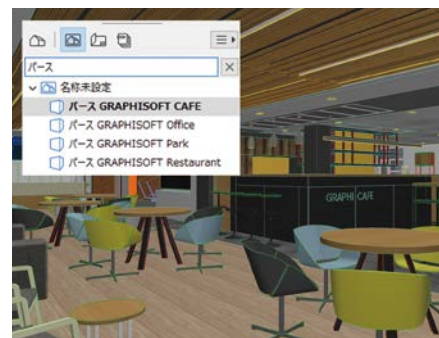
強化された開口ツール

開口部に対して材質の上書き表現が可能になり、一覧表で表示できるパラメータが増えました。これにより開口部の形状をより適切に表現することができます。



高速なプロジェクトナビゲーション

該当する図面を探すためにスクロールやクリックを繰り返していませんか。新しくなったナビゲーションでは検索から素早く簡単に必要なアイテムを見つけることができます。



Visualize

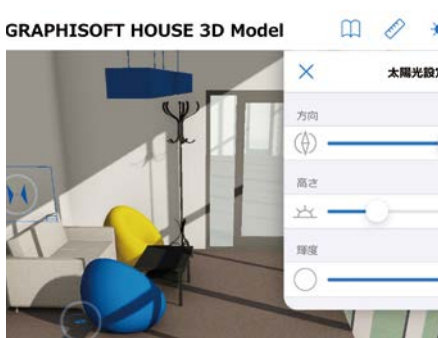
数百の新しい材質

[Cineware]と[Redshift]2つのエンジンを搭載することにより、あらゆる規模のクリエイターや実務をサポートします。数百におよぶ材質カタログを刷新することで、よりリアルで魅力的なレンダリングが可能となります。



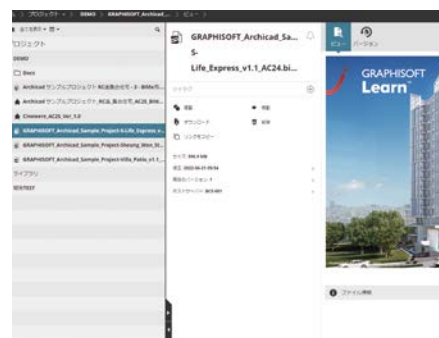
BIMxの陰影表現

建築のプレゼンテーションでは、リアルなビジュアルがますます重要となっています。今回の新しい機能では影の表現が可能となりました。



BIMcloud in BIMx

BIMcloudを使用している関係者間でBIMxをブラウザで確認することが可能となりました。これによりプロジェクトの情報をより簡単に関係者間で共有することができます。



Collaborate

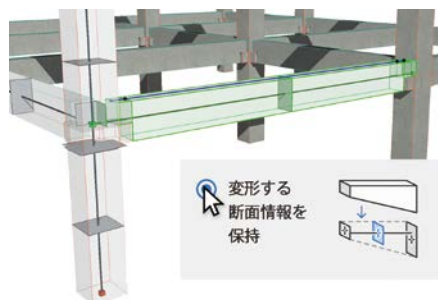
全てのプロジェクト ファイルを共有

BIMcloudはArchicadやBIMxだけでなくあらゆるファイルをプロジェクト関係者で共有することができるプラットフォームとなりました。アクセス制限などによるセキュリティも十分備えているため、安心してファイルを共有することができます。



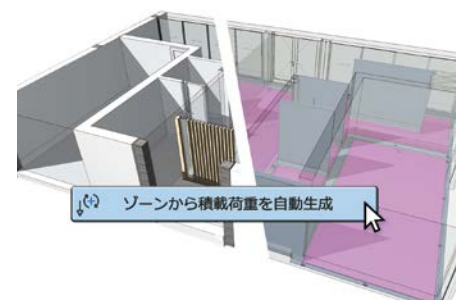
柱と梁の各セグメントを サポート

複雑なセグメントにより適切な情報を保持、取得することが可能となりました。これにより異なるソフトウェア間で正確な情報の受け渡しができるようになります。



構造荷重や構造解析の 情報

構造荷重や構造解析の情報は毎年アップデートがされています。これらの機能を活用することで構造設計者とのコラボレーションをより強化します。今回はゾーンに対しての荷重を生成することが可能となりました。



Document

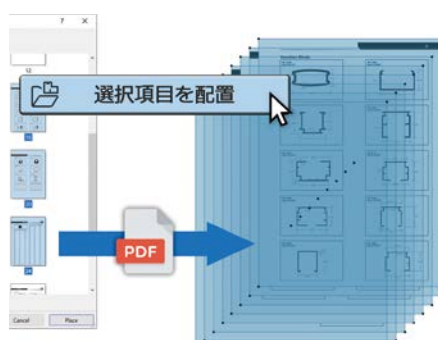
材質による図面表現

図面を魅力的にわかりやすく伝えるために立面図や断面図、展開図で3Dと同様のテクスチャ表現をすることができるようになりました。コンペティションなどでもこの表現は大きな効果を発揮します。



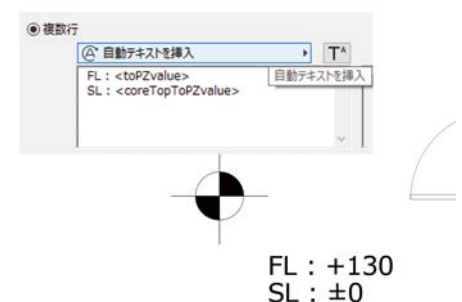
PDF配置の複数配置

PDFを一括で複数枚配置することが可能となりました。これにより配置時の負担を大幅に減らし、レイアウトを自動作成しながら一度に貼り付けることができます。



強化された高度寸法ツール

新しい高度寸法はGL・フロアレベル・海拔・スラブや階段など、様々な起点から高度を表示することが可能になりました。これにより指定された起点からの高度を自由に表示することができます。





Integrate with Engineering

OPEN BIMは、buildingSMARTのIFCなどのオープンスタンダードに基づいています。日本国内におけるOPEN BIMの最新情報についてはbuildingSMART Japanのページを参照ください。 <https://www.building-smart.or.jp/>

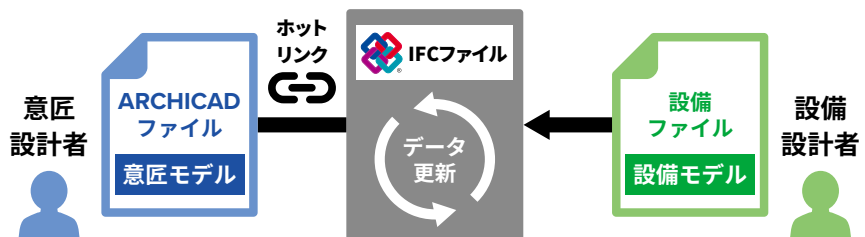
OPEN BIMとは、建物の設計・施工・運用に関わる各関係者の中で、自由なコラボレーションを可能にするアプローチです。OPEN BIMはbuildingSMARTが定義するオープンスタンダード(IFC)を中心に、ソフトウェア間の円滑な連携をベースにした最適なワークフローを提供します。

わたしたちの信念

- ① プロジェクト関係者間の相互運用性を、競争の根拠として使用してはならない。
- ② プロジェクト関係者は、プロジェクト作業で使用するソフトウェアを自由に選択する基本的権利を有する。
- ③ プロジェクト作業から候補者を排除するために、独自仕様フォーマットの使用を義務付けてはならない。
- ④ オープンスタンダードの開発やサポートによって、相互運用性を推進するものとする。
- ⑤ オープンスタンダードの品質を立証するために、厳格な試験基準と認定基準は不可欠である。
- ⑥ 業界関係者は、AECコミュニティでOPEN BIMを公式に承認し、推進しなければならない。

Archicadでの連携(意匠、構造、設備)

構造モデルは、IFC形式を利用してデータを取り込むことができます。Archicad 21よりIFCファイルをダイレクトにホットリンク(外部参照)することができるので、意匠、構造のワークフローをスムーズに行うことができます。



OPEN BIMのメリット

独立したアプリケーション

他分野の担当者はモデルベースのコラボレーションでの利点を失うことなく、それぞれにとって最高のツールでプロジェクトに参加できます。

BIMプロジェクトデータの整合性と所有権

各分野の担当者が設計データを作成し、お互いにデータ参照することで、データの所有権と責任を維持することができます。

ワークフローの透明性

連携するすべてのアプリケーションでオープンなインターフェイスを提供しているため、透視的かつ完成された相互ワークフローを実現します。



Solibriでの連携



SolibriはBIMモデルの品質向上を目的とし、設計および施工プロセスの生産性を高めるソリューションです。OPEN BIMをコンセプトとしたBIMアプリケーションがIFCフォーマットを介して互換性を高める中、Solibriはそのプロセスを利用し、これまで人手で行っていた検図業務を3次元モデルにより自動化するシステムです。あらかじめ登録した条件に従って干渉箇所検出や必要クリアランスの確保など、データが正しく入力できているかを確認し、問題がある箇所を一覧表示・レポート出力を行うことができます。またArchicadのBIMデータとはダイレクトリンクすることが可能で、検出された問題箇所を瞬時に確認・修正することができます。その結果、モデル間の不整合削減、見落としミス削減、作業時間削減、作業要員削減、用紙削減など、検図・修正業務における大幅な効率化が見込め、正しいBIMデータを活用したワークフローが実現できます。

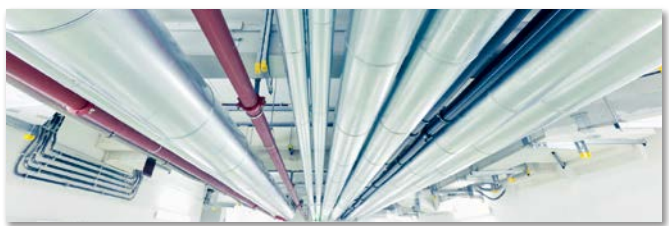


その他の連携ソフトなど



■ 構造連携

ArchicadではBIMモデルを使い、構造設計者とのデータ連携をより正確に行います。STBフォーマットをサポートする『ST-Bridge Converter for Archicad』はArchicadで作成したモデルから構造要素(柱、梁、床、壁など)をST-Bridgeデータとして出力した後、構造計算プログラムや鉄骨専用CADなどの構造専用ソフトウェアで計算・設計し、再度ST-Bridgeデータ経由でArchicadに読み込むことにより、双方向の連携を実現します。これにより、これまでのCSV/IFCによる連携ワークフローに加え、新たにST-Bridgeデータを扱う一貫構造計算プログラムや鉄骨専用CADとのワークフローを可能としました。



■ 設備連携

Archicadでは、3D環境でのダクト、配管、ケーブルトレーの作成、編集、取り込みや調整が可能になります。またIFCファイルにより、設備CADデータから高さ方向の情報を判断し、複雑な操作を行うことなく属性情報を持った配管・ダクトの3Dモデルが自動的に生成されます。それらを干渉チェック機能により整合性を確保したBIMモデルに構築できます。



■ BIMに統合されたサステイナブルデザイン

Archicadに内蔵されたエネルギー評価機能では、BIMモデルから設計者は設計の初期段階で、ダイナミックかつ正確なエネルギー計算を行うことができます。計算の入力データ、評価結果をPDF、XLS、IFC、gbXML、PHPPなどの様々な形式で共有することが可能です。

■ 解析・分析との連携

専門分野の違いや、ソフトやバージョンに関係なく、エンジニアとの連携作業を可能にすることで、IFC技術を本格的なワークフローソリューションにしました。このモデルベースワークフローでは、流体・温熱・環境などの様々な解析シミュレーションによる環境性能シミュレーションが可能になります。

※各種シミュレーションには対応ソフトが別途必要になります。詳細はお問い合わせください。



Case Study

事例紹介

Archicadは世界中の多くのお客様にご愛用いただいております。
グローバルで紹介されているお客様の事例を一部ご紹介させていただきます。

The Independent
Rhode Partners Architects, USA
Photo © Nick Simonite



Archicad は、まさに“百聞は一見に如かず”だ。
まずは触れてみてほしい。

井手 孝太郎

Building: SHELL
Location: 長野県軽井沢
Architecture firm website: WWW.ARTECHNIC.JP
Photo: © NACASA & PARTNERS INC.

Client: 井手孝太郎
Title: 代表 / 一級建築士 PRINCIPAL, AIA
Company: アールテクニク 一級建築士事務所



Archicadを使うことで、
設計の早い段階から完成イメージを作ることができる。

KEN ADLER

Building: GUGGENHILL RESIDENCE
Location: USA
Architecture firm website: KA-DESIGNWORKS.COM
Photo: © DALLAS & HARRIS

Client: KEN ADLER
Title: PRINCIPAL
Company: KA DESIGNWORKS, USA

Archicadのその他国内の事例はこちらから

<https://graphisoft.com/jp/case-studies>

GraphisoftからBIMソリューションやユーザー事例、BIMに関するイベントなどの情報をご提供いたします。



最新情報はここからも配信



Archicad がなかったら、
プロジェクトの完成が間に合わなかったかもしれない....

横山 晴之

Building: 銀座 伊東屋
Location: 東京都中央区
Architecture firm website: ANLG.CO.JP
Photo: ©梶原敏英

Client: 横山 晴之
Title: 執行役員/一級建築士
Company: ANALOG株式会社



我々の設計理念。
それは、探求心、コラボレーション、デザインだ。

KARL FENDER

Building: MERDEKA 118
Location: KUALA LUMPUR, MALAYSIA
Architecture firm website: FKAUSTRALIA.COM

Client: KARL FENDER
Title: FOUNDING PARTNER, MD
Company: FENDER KATSALIDIS, AUSTRALIA

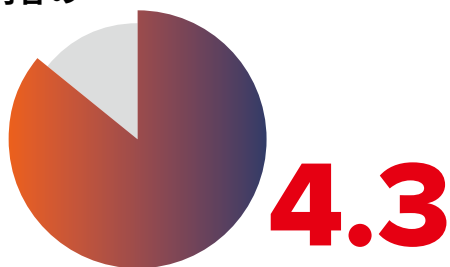


BIM Classes

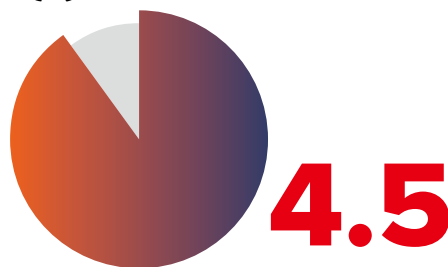
BIM Classesは、Graphisoft製品および関連製品に関する様々なトピックを題材に、Graphisoftが開発したトレーニングです。初級から上級コースまで、豊富なコースをご用意しております。初級レベルから段階を踏んで受講することで確実なレベルアップが実現できます。

▶ **毎月延べ500人以上が受講している** * 2021年 回答者1449名の平均評価 (5点満点)

クラスの内容の
満足度



講師についての
満足度



▶ 豊富なコース設定

Archicadに初めて触れる初級者から上級者まで、Archicadだけでなく、関連製品まで様々なコースを習熟度に合わせてご用意しています。



導入初期



初級ユーザー



中級ユーザー



上級ユーザー

BIMワークフロー (企画設計・基本設計・実施設計)	
モデリング	図面作成
一覧表	OPEN BIM

パース作成 Cineware	情報管理1 要素プロパティと分類
プレゼンテーション	情報管理2 数式定義プロパティ
情報の視覚化(色分け) 表現の上書き	
木造伏図・軸組図	

BIM基本スキル

初級コース

画面構成やコマンドの基本的な使用方法から、モデルの作成方法など、プロジェクトでArchicadを使用し始める際に知っておくべき基本知識を習得します。

中級コース

初級コースのクラスを受講した後、モデリング、図面作成や、一覧表など、BIMソフトにおける主要なスキルに特化して強化するコースとなります。

上級コース

初級コース、ならびに中級コースの内容を理解し、さらにご自身の専門分野に関わる高度なArchicadおよびBIMの知識を身につけたいユーザー様向けのコースとなります。

▶ プロの講師陣

実際の現場に出ている、Archicadユーザーの方々が講師となり学習を進めていきます。実務に携わる中で身に着けた実践的な技術・経験を学ぶことができます。

▶ CPD認証プログラム

BIM Classesは、以下のCPD制度の共通認定プログラムです。
建築CPD情報提供制度 / JIA CPD制度 / 建築士会CPD制度 / 建築設備士関係団体CPD制度 / 建築・設備施工管理CPD制度 / APECアーキテクト / APECエンジニア

▶ オンラインクラス

教室までの移動時間が必要ないので、受講前後は通常業務を行うことができ、時間を有効に活用できます。また、クラスは少人数制で行われますので、その場で質問することができ、対面クラスと変わらない学習効果をご体感いただけます。

▶ 何度でも学べる

ライブクラスは何度でも受講することができ、受講後には、復習していただくため受講済クラスのビデオクラスが公開されます。ビデオを視聴して再度自己学習ができます。



BIM Manager Program

Graphisoft Learnでは、BIMを活用していただくために様々なスクール、トレーニングプログラムを提供いたします。 ※詳細はWebをご確認ください。

BIMマネージャー/ BIMコーディネーターとしてご活躍中の方、または目指している方向けに、経験豊富なトレーナーとBIMマネージャー経験者によるプレゼンテーションやアドバイス、また実務を想定したアクティビティを通して、BIMのスタンダードとベストプラクティスにおける最新情報を提供するオンライン講習プログラムです。Graphisoftは、bSJ認定トレーニングプロバイダとして『buildingSMART プロフェッショナル認証』を受けています。

bSIIによるbuildingSMART Professional認証プログラムに従い、審査、登録されたプログラムです。
buildingSMART Professional認定試験の認定パスを取得するために必要な知識を習得することができます。
<https://education.buildingsmart.org/>



GRAPHISOFT Community™

Graphisoft Communityは、世界中のArchicadユーザーが、互いに情報を共有し、サポートしあうことのできるコミュニティサイトです。最新情報を得ることができ、わからないことを他のメンバーに教えてもらうこともできます。Archicad導入をご検討中の方も、疑問があればぜひ、サイトをのぞいてみてください。

※閲覧のみの場合、ログインは不要です。

※「いいね」やコメントされる際には、Graphisoft Communityへのご登録が必要になります。





GRAPHISOFT
Forward™



Graphisoft Forward

Graphisoft Forward とは Graphisoft が提供するサポートサービスです。Forward では、幅広いサービスを提供いたします。

Redshift



CPUベースのハイエンドプロダクションレンダリングを利用いただけます。リアルで高品質な結果とレンダリング時間の短縮は、クリエイターの実務をサポートします。

無償アップグレード



契約期間中は、常に最新のバージョンへ追加料金なしでアップグレードしていただけます。

テクニカルサポート



専用のテクニカルサポート窓口をご提供し、お客様のお問い合わせに迅速に対応いたします。

Forwardツール



標準機能に簡単に追加できるアドオンツールなど、便利な機能をご利用いただけます。

BIMスキルアップセミナー



BIMを活用するためのヒントやテクニックを学べるセミナーを受講いただけます。

ライセンス保険



ライセンスが破損した場合、年に1回まで無料でライセンス交換いたします。

BIMx発行



BIMxへの保存機能、BIMxModel Transferサイトのプライベートストレージスペースを提供いたします。

Learnディスカウント



Graphisoft Learnの提供プログラムを特別価格にてご受講いただけます。

イベントアーカイブ視聴



ユーザー様の活用事例やスキルアップセミナーの動画など役立つ動画のご視聴をご利用いただけます。

テクノロジープレビュー



ユーザー様のリクエストをもとに開発された便利な追加機能の試用版をご利用いただけます。

オブジェクト



標準ライブラリには含まれないオブジェクトをダウンロードできます。

ドキュメント



実施設計の段階で必要になる豊富なコンテンツを揃えたテンプレートやArchicadをより使いこなすためのワークフローガイドをダウンロードできます。

※Graphisoft Forwardは2022年4月1日発売の商品です。現VIPserviceと同等のサービス内容になります。なお、既にVIPserviceご契約のお客様は、引き続きVIPserviceをご利用いただけます。

各種製品およびサービスについてお問い合わせはこちら



価格表		特記事項
Archicad 26	1,016,400円 (税抜価格924,000円)	※ネットワークライセンスの場合、2ライセンス以上が必要となります。 また、Graphisoft Forwardへの加入が必須となります。
Archicad 26 Solo	508,200円 (税抜価格462,000円)	Archicad 26とArchicad 26 Soloの違いはレンダリング機能と、チームワークおよびホットリンクなどのコラボレーション機能の有無です。名前の由来の通りチームによる共同作業を必要とせず、単体(Solo)作業をされる方に向けたバージョンです。 ※Archicad 26 Soloにネットワークライセンスは適用されません。 ※ご購入の際には、Archicad 26 Solo用のGraphisoft Forwardへの加入が必須となります。
BIMcloud	28,600円 (税抜価格26,000円)	※1ライセンス当たりの年間料金です。 ※ArchicadとBIMcloudからBIMcloudを利用するには、同時に接続される接続数分のBIMcloud User Licenseが必要になります。 ※BIMcloudはBIMcloud Authorized Platform (BMAP) 上で運用することを推奨しています。

Graphisoft Forward 年間契約料金	Graphisoft Forward 契約ライセンス数	1~2ライセンス	3ライセンス以上
	Archicad	145,200円 (税抜価格132,000円)	137,500円 (税抜価格125,000円)
Archicad Solo	101,200円 (税抜価格92,000円)		

※上記金額は1ライセンスの価格(税込み)で、複数ライセンスの場合の合計金額は、上記価格に本数を乗じたものとなります。 ※既にVIPserviceをご契約のお客様には引き続き、VIPserviceを販売いたします。

BIM Classes 年間パスポート料金	ライセンス同時購入価格 ^{※1}	220,000円 (税抜価格200,000円)
	Graphisoft Forward加入者価格 ^{※2}	275,000円 (税抜価格250,000円)
	コーポレート価格 (3本以上の同時購入)	220,000円 (税抜価格200,000円)
	一般価格	385,000円 (税抜価格350,000円)

※1 Graphisoft Forward への加入が必須となります。 ※2 VIPservice 加入者も対象です。

Archicad 各種コンテンツ無料ダウンロード



Graphisoft ダウンロードセンター

ダウンロードセンターでは、Archicad、BIMcloud、BIMxのソフトのアップデートプログラムや、OPEN BIMのワークフローを行うためのアドオンソフトやツール、Archicadのトレーニング教材を無料にてダウンロードいただけます。

Archicad 無料アドオンツール



Rhinoceros®/Grasshopper
アドオン

モデル形状のシームレスな双方向の連携に加え、基本的な幾何学形状をBIM要素に変換し、アルゴリズムを使用した編集機能を提供します。



ST-Bridge Converter
for Archicad

「ST-Bridge Converter for Archicad」は、日本国内の建築構造分野での情報交換のための標準フォーマットであるST-BridgeファイルをArchicadにインポート及びArchicadからエクスポートするためのアドオンソフトです。



求積ツール Light
for Archicad

設計業務の中で大きなウェイトを占めている求積作業を効率化する Archicadのアドオンシステムで、入力済の3D建物モデルや2D図面から、簡単な操作で面積計算を効率的に行うことができるツールです。

※「求積ツール Light for Archicad」は生活産業研究所株式会社が提供する、無償版のArchicadアドオンソフトウェアです。



日影規制チェックツール
Shadow Planner

「Shadow Planner」は、プランニング時における日影規制のチェックを行うための、Archicadのアドオンソフトウェアです。

※「Shadow Planner」は生活産業研究所株式会社が提供する、無償版のArchicadアドオンソフトウェアです。



IFC Model Exchange
with Archicad for Revit

「IFC Model Exchange with Archicad for Revit」は、Autodesk® Revit®用の無償アドインであり、ArchicadとAutodesk® Revit®の間のIFCを用いた双方向のデータ連携をより良いものにするを目的としています。

※その他、各種コンテンツがダウンロード可能です。

■ Archicad 動作環境

	推奨動作環境	
	小・中規模	大規模
プロジェクト規模	例：一般的な集合住宅、住宅、事務所ビル	例：超高層、総合病院などの大規模または複雑なプロジェクト
CPU	Intel Core i7	Intel Core i9
	AMD Ryzen 7	AMD Ryzen 9
メモリ	32GB以上	64GB以上
ハードディスク	NVMe SSD	NVMe SSD
グラフィックカード	4 GB VRAMDirectX11 互換のグラフィックカード	8 GB VRAMDirectX11 互換のグラフィックカード
	※CPU オンボード(内蔵)グラフィックカードでは動作が保証されていないので、使用を避けてください。 推奨グラフィックカードの詳細はこちらをご確認ください: https://graphisoft.com/jp/videocards	
ディスプレイ解像度	2K (2560×1600)	5K (5120 × 2880)
オペレーティングシステム	Windows 10 64-bit	
	macOS 12.3	
オプションのハードウェア周辺機器	全ての主要なプロッター、プリンターおよびデジタイザーはArchicadで使用することができます	
インターネット環境	Archicad アップデートのダウンロード、遠隔地でのBIMcloudへの接続のために高速のインターネットアクセス必須	
プロテクションキー	起動するためには、有効なArchicad 26ライセンスを含むCodeMeterハードウェアプロテクションキー、または、CodeMeterソフトウェアキーが必要となります	

イベント

体験セミナーや、イベント・セミナーを開催しております。
詳細はこちらから。

オフィスや自宅にしながらBIM体験してみませんか？

- ▶【Archicadオンライン体験セミナー (RC編・木造住宅編)】120分
- ▶【Solibriオンライン体験セミナー】120分
- ▶【BIM Classes 体験セミナー】90分



無料体験版

Archicadの全機能を30日間無料で
お試しください。



詳細および最新情報はWebページをご確認ください。

<http://www.graphisoft.com/jp>

グラフィソフトジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂3-2-12 赤坂ノアビル4階
〒532-0011 大阪市淀川区西中島7-5-25 新大阪ドイビル6階
〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5階

Cover Image: The Independent
Architect: Rhode Partners Architects, USA
Photo © Nick Simonite

GRAPHISOFT, Archicad, BIMx, BIMcloud are registered trademarks of GRAPHISOFT SE.
Other names may be trademarks of their respective owners.

お問い合わせ

